



恩師を囲んで



代表者謝辞

はじめての「二十歳のつどい」  
今年名称を改めての開催  
冬の開催は今回で2回目  
振袖姿も多く華やかな式でした。

議会だより

あさひむら

希望の新時代へ

朝日村議会議員 北村 直樹

本年は4月に地方統一選挙が行われ、当村においては「村長選挙」・「村議会議員選挙」が同時に行われます。これからの4年間の村のリーダー・そして村民の代弁者を選ぶ非常に重要な選挙となります。村民の皆様も関心を持って臨んでいただきたく存じます。

さて我々の任期も残すところ4カ月となりました。現議体制での活動はわずかとなりますが、残された期間を精一杯尽くして参る所存でありますので、どうか皆様方には、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。令和5年の新春にあたり議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は隣国ロシアがウクライナへ突如侵攻。日本においてはアメリカとの金融政策の違いにより円安が進行。「コロナ禍」という背景を受け我々の生活に直結する食料品を始め、電気・ガス・石油等の値上がり相次ぎその負担を強いられる年となりました。この景況は本年も続く見通しであり先行きが不透明な時代へと突入しました。こうした変化を受け止め、朝日村の進むべき道をしつかりと見極め、村民生活の安心安全の確保と福祉の更なる向上に向け引き続き活動をして参ります。



もくじ

- ・ 12月定例会・臨時会・委員会報告・全員協議会 2~3
- ・ 一般質問 村政を問う ..... 4~8
- ・ 議会モニター・議会村民懇談会 ..... 9
- ・ 特集「村議会議員になろう」 ..... 10
- ・ 議員活動報告・議員活動日誌 ..... 11
- ・ 村民の声・ちよこつと訪問・編集後記 ..... 12

●「議会だより」第47号

発行日/2023年1月31日  
発行/朝日村議会  
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村  
大字古見1555番地1  
TEL.0263-99-2001(代)  
FAX.0263-99-2745  
Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp  
印刷/川越印刷株式会社

財政調整金積立・電気料・農地整備事業計画変更負担金など  
1億5,172万円追加  
令和4年度  
一般会計  
総額37億2,512万円

12月  
定例会

12月定例会は、12月6日から16日までの11日間の会期で開催された。

提出された議案は条例5件、補正予算6件、請願・陳情4件、9日には常任委員会、13日は一般質問を行い、16日最終日に上程されたすべての議案を原案どおり可決した。

〈議案の主なもの〉 .....

**朝日村職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例**

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年が60歳から65歳まで段階的に引き上げ、職員の定年、給与等に関して必要な事項を定めるための条例制定

**朝日村基金条例の一部を改正する条例**

朝日村基金条例に、森林環境譲与税活用基金を追加するもの

**一般会計補正予算**

歳出の主なものは、財政調整基金積立金1億948万円、農地整備事業計画変更による負担金2600万円、電気料金の値上がりに伴う各公共施設の管理費の増額によるもの

**議案訂正請求書を提出**

会期中、村から開会日に提出された一般会計補正予算（第8号）の議案訂正請求書が提出された。前年度一般会計決算の翌年度への繰り越すべき財源5,427万6千円が計上されたため修正を行ったもの。塩原智恵美議員は、単純な確認作業で防げる事務処理ではなかったのかとして、原因、チェック体制、再発防止策について質疑をした。村は「確認を行うとともにマニュアル作成等で再発防止に努めたい」とした。

**スキー場特別会計 人工降雪機 運用方法変更に伴う予算精査**

**健全化判断比率の修正について**

- 令和3年度決算に基づく朝日村健全化判断比率の修正
- 実質公債費比率 4.0% から 4.4% に修正

**専決処分の承認を求めることについて**

- 電気ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業

**令和4年度一般会計補正予算(第7号)**

- 物価高騰対応燃料等商品券配布事業

**令和4年あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第3号)**

- 人工降雪機の運用方法の変更（購入からレンタル）



スキー場でレンタルした人工降雪機

第3回  
臨時会

10/31

**社会文教委員会報告**

12月9日に開催した、社会文教委員会では付託された請願3件及び陳情1件を審査しました。

請願は「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」の3件です。教育委員会・PTA・校長会・教職員組合など教育7団体連絡協議会から出されたもので、団体からの説明を受けた後、審査した結果、更なる義務教育の充実を願う思いから、この請願を全会一致で

採択としました。また、陳情1件「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書」につきましても医療・介護現場の労働環境の改善は喫緊の課題との認識から採択としました。

委員会では結果を受け、請願3件・陳情1件について各関係機関に提出する意見書案を16日開催の本会議に発議し、結果、全議員の賛同を得て採択となり、関係機関へ意見書を発送いたしました。

社会文教委員会委員長 中村文映



## 行政視察(10月12日)

### どうする？

## 小学校の屋根付きプール

小学校のプール棟改修事業を目前にして、教育委員会から現地で改修概要を伺った。

1998年5月に竣工し大きなかまぼこ形の屋根で、屋根材にはポリカーボネイトを採用して、プール内部の照明は自然光で対応出来る全天候型のエコプールで、小学児童の水泳授業・体力向上への熱い想いがうかがわれる。

建設から24年の歳月を経て、屋根材の劣化や汚れに伴う、屋根材の全面更新や建屋の外壁材の劣化に伴う改修で改修費用は約8千5百万円。

この度の改修事業で判明した不具合箇所があり、更なる出費が想定される。

当時としてはかまぼこ屋根には大断面のカラマツ集成材を採用して木質の特性を発揮させた構築物を目指した想いが伝わる。

時の流れと共に、水泳授業の考え方、このような構築物の維持管理の仕方等、この度の改修を機に、公共構築物の維持管理を見直す機会にしたいもた。

また、村道針尾幹2号線の排水路整備工事も視察。東電道路沿いのこの場所は以前から大雨により畑に水が流れ込む状態であったため、排水路の工事を行っているものである。大幅な状況改善を期待したい。(林邦宏)



小学校プール

## 行政視察(12月16日)

### 村営住宅改修

## 買取方式で実施中

12月16日に行政視察を行う。はじめにスキー場で新たに導入した人工降雪機を見学。令和4年から令和6年度までレンタルで人工降雪機DEMACELENKO社製TITAN3.0を設置して雪を作る。電気代は従来の機種の三分の二程度で済み、雪の拡散面積は六倍とのこと。イタリア製だが操作パネルは日本語で自動で仕事をします。

次に旭ヶ丘の村営住宅改修現場を見学。令和4年度朝日村公営住宅旭ヶ丘団地5・6号棟改修工事。間取りの改修、給油設備の設置、電気容量のアップ、外壁面、天井等の断熱、開口部のアルミサッシ化、住戸内部の段差解消、浴室、トイレ等への手すりを設置する改修。

キッチンパネルの設置、外壁に耐久性のある塗装を施し、屋根材を耐久性のある材料に変更。

長野県住宅供給公社が住宅を建設し完成後、村が買い取る方式で実施する。(高橋良二)



改修中の村営住宅

### 10月4日

● スキー場の降雪方法の変更について(移動式人工降雪機購入)

高性能の移動式降雪機へ切り替えることにより、運営経費(電気代・人件費)の削減と温暖化傾向下での確実な雪づくりにより顧客満足度向上を図る。

### 10月12日

● 小野沢拠点避難地整備事業について

● 朝日村肥料価格高騰対策支援事業について

● 朝日村化学肥料提言及び地力向上に伴う堆肥購入支援事業について

● 朝日村物価高騰に伴う燃料等補助券配布事業について

### 10月21日

● スキー場の降雪方法の変更について

● 新型移動降雪機1台購入から2台レンタルへの変更とする。

### 11月16日

● 公共交通バス路線変更及び新設について

新規路線は、朝日村・山形村から市立病院・梓川高校方面への路線とし、令和5年4月から運行を計画している。

● くるりん号の接続ポイントの変更について

週二便の買い物バスの運行、朝日・波田線(仮称)の運行に加え、くるりん号の接続ポイントとして「ザ・ビッグ山形店」を追加することを検討している。

### 12月16日

● 朝日村防災センター建設事業について

● 財政計画について

● 朝日村空家等対策計画(案)について等8項目

## 全員協議会



# 村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。



▲こちらから動画でご覧いただけます。

## ここが聞きたい 9 議員 20 項目

### 中村 文映議員(4ページ)

- 1 村の防災対策と西洗馬防災センター建設について
- 2 朝日村における子どもの貧困の実態及び支援策について
- 3 村の教育行政について

### 齊藤 勝則議員(5ページ)

- 1 鉢盛登山道に休憩場所と簡易トイレを
- 2 古見の交差点に信号を
- 3 松枯れについて

### 小林 弘之議員(5ページ)

- 1 次期統一選挙に向けた小林村長の進退について
- 2 医療の充実と通院の為の公共交通の充実について
- 3 児童の社会スポーツの振興について

### 塩原智恵美議員(6ページ)

- 1 指定管理者逮捕による今シーズンのスキー場運営と今後の方針は
- 2 スピード感ある、時代に対応する農業政策の実施を

### 羽多野美映議員(6ページ)

- 1 朝日村における若年世帯の住環境整備と拡充について
- 2 憩いステーション設置と交通、防犯環境の整備について

### 高橋 良三議員(7ページ)

- 1 公民館館長について
- 2 議員定数について

### 清沢 正毅議員(7ページ)

- 1 西洗馬原工業団地企業誘致事業について
- 2 マイナンバーカード普及促進事業について

### 高橋 廣美議員(8ページ)

- 1 コミュニティスクールの現状と今後について
- 2 観光関連施設の現状と今後について

### 林 邦宏議員(8ページ)

- 1 村道西洗馬7号線改良工事の出来映えは

**問** 局地的な豪雨も相次ぐ昨今、他市町村では気象の専門業者と提携し情報収集や避難指示を出しているが村の体制は。

**総務課長** 気象庁のデータや県の情報も入手できる体制を整え、現状の収集方法で対応できていると考える。

**問** 専門家でない職員の情報判断で大丈夫か。

**村長** 二年前の豪雨災害以降避難所も開設し、情報分析にも職員が経験を積んできている。

**問** 西洗馬防災センター建設案の設計根拠は。

**総務課長** 大きな被害が想定される境峠・神谷断層の被害を想定し避難人数を59人とした。基準の1人3㎡で計算した。現在の西洗馬公民館1階部分とほぼ同じ広さだ。

**問** トイレ等の設備は足りるのか。

**総務課長** 基準で整備している。また、屋外にマンホールトイレも整備、災害時には県および近隣市村と連携して整備する。



中村文映 議員

**答** 気象情報収集にも取り組み、職員も経験も積んできている  
気象情報の収集体制や  
避難指示は大丈夫か

**問** 太陽光発電や蓄電池およびWi-Fiは整備するのか。

**総務課長** 太陽光発電は常時使用する施設でないため整備しない。Wi-Fi環境は整備する。

**問** 子どもの貧困の実態及び支援策について

**問** 子どもの貧困が社会問題化しているが、村は実態調査をして状況把握をしているか。

**教育長** 実態調査は行っていないが、健診や入学相談・わくわく館・子育て支援センター窓口での聞き取りを行っている。

**問** 貧困は顕在化しにくいが今後の支援策は。

**教育長** 他の先進事例を研究する中で、どんな支援が出来るかを検討する。







齊藤勝則 議員

## 松枯れについて

**答** 今年度の被害本数は134本駆除本数は69本(11月末現在)

**問** 松枯れ対策として行政では大きな予算を掛けて、一生懸命取り組んでいることも良くわかりますが、それでもなお赤茶色し枯れた赤松が目立ちます。朝日の山林は、山の幸特に松茸については有名で、村の特産品です。しっかりと赤松を守ってもらいたいと思う村民は、大勢いると思います。

松枯れ防止策として、被害木の伐倒燻蒸処理や樹幹注入が実施され、被害木が大量に発生したところでは、周辺赤松を全数伐採して、樹種転換を図る対策が執られておりますが、今古見で実施している箇所は急峻で崩落危険箇所が有り、大雨等で崩落が起きたら大変です。樹種転換でカラマツを植えると聞いておりますが、カラマツは根張りが弱い、他の樹種の検討は如何か。  
①広葉樹の植樹は如何か。  
②崩落防止策はどのように考えていますか。  
③植樹の芯根を深くし、強い立木にする補強策、岡谷市の被災地を参考

にしては。

④本年度の被害本数と処理本数、今後の予定を伺う。

**産業振興課長** カラマツは造林費用の低コストが図られ地権者の負担が抑えられる、広葉樹は人工造林の歴史は浅く成果は分かっていない、植樹後管理に大きな費用が掛かる等ですが提案は林業事業体に繋がります。崩落防止策は伐採後も15年位は伐採木の根が山林の地盤を維持している間に植樹木を丈夫に大きく育てていきます。



横出ヶ崎 樹種転換事業地



小林弘之 議員

## 村民の為に公共交通の充実と、医療の充実は

**答** 早期実現に向けた取組をする

私がこの一年一般質問で村政にお伺いした内容で今後、検討、方向付けしていく等のご回答を頂いた項目について、どのように検討されたのか、方向付けされたのか、また計画、予算化されるのか、総括として要望、質問を以下お伺いした。

**問** 公共交通の充実は。

**企画財政課長** 高齢の通院買い物及び学生の通学に対応し朝日・波田線の新規路線が令和5年4月から運行される計画。

**要望** 高齢化社会に伴って自動車免許の返納者等が増えてくるのが見込まれる社会福祉の観点からも運行本数を増やして頂きたい。今後、塩尻市内(駅)までの公共交通の充実も。

**企画財政課長** 実際に運行して利用状況課題等を踏まえ運行本数、時間帯、ルートの変更等、検討していく。

**村長** 塩尻駅まで路線は今すぐには無理、その時間帯に接続に、くるりん号をもっと走らせることだと私は思っている単独で又はそれが塩尻市と協議したところでダイレクトには難し

いと私は今時点では思っている。

**問** 医療の充実は。

**村長** 朝日村が必要とする医療体制は往診ができる事が一番大事であり高齢者医療と子供を含めた全村民がいつでも直ぐに診察してもらえそんな地域医療を目指す必要があると感じている。村内に村が診療所の器を用意し医師を招く方式が現在では最良と考えている来年度に調査研究費を付けさせて頂き有識者会議を開いて検討していく。目論見として三年から四年後に実現できる目標に進めていく。

**問** 児童の社会スポーツの振興は。

**教育次長** 新年度では村内の子供を基準とするなかで村外のクラブに所属している村内の子供を対象にできるのか、また加えて村外の子供を算定基準に含めることにより補助の効果を図られるのかなど検討調整に入っている。まずは村内で活動する団体について村民の皆さんへの周知を行うと共に活動資金の支援策が必要と捉えており引き続きスポーツ団体と意見交換を行う中で対応していく。



塩原智恵美 議員

## 指定管理基本協定書の 変更締結の必要性は

**答** 今は必要ない

この質問は一般質問提出締め切りの当日、新聞報道で知ったことにより急ぎを取り上げた。朝日村の指定管理者「タジマモーターコーポレーション朝日」の代表者が不法投棄で逮捕された事により、基本協定書にうたわれている一切の権限の行使が、代表者を通じて出来なくなる不具合を解消する必要があると考え対応を求めた。

**問** 指定管理者は共同事業体であり2人の代表者で構成。両者で取り交わした協定書によると代表者としての責務が果たされない場合、代表者の変更が可能。これに基づく対応を村はすべきと考える。

**村長** 弁護士に相談して対応。タジマ本社は機能不全に陥っていないことから静観してスキー場運営を見守る。

**副村長** 指定管理者の代表者不在よりも考える事は、不確かな情報の中、公の場所でこつした質問をする風評リスクは、村と指定管理者双方に大きな損害となる可能性がある。

**まとめ** スキー場運営を安全安心して指定管理者に任せるとは、代表権を

もつ共同事業体の残りの1社に変更する可能性について、弁護士に相談していただきたい。

**時代に沿った農業政策の対応を**

**問** 6年連続の廃棄処分、肥料価格高騰、異常気象、安定販売の難しさの中、基幹産業の農業を取り巻く環境は厳しい。この状況下、経営を救っているのが野菜価格安定基金である。原資はJAと農家と村で掛け金を負担しているが、ハイランド管内はそれぞれ3分の1ずつに対して当村は、定額の250万円。他の自治体並みにすべきでないか。JAと協議したきたい。

**清沢課長** 村は農業政策全般よくやっている。こつした状況踏まえて検討する。

**問** 持続可能な農業を次にバトンタッチするには経営者支援は必須条件。規模拡大面積や機械、施設などの支援策と新規就農者研修制度等総合的な支援策を関係者で講じたらどうか。

**村長** 提案を目指して取り組む。



羽多野美映 議員

## 若年層の住環境どう整える？

**答** 若者向け賃貸住宅の整備急務

**問** 旧おひさま保育園跡地への優良賃貸住宅建設計画が中止になった。経緯と今後の方針、跡地の利用は？

**企画財政課長** 説明会を重ねたが、反対意見が上回り、理解を得ることが困難と判断し、跡地への建設計画は中止としたが、若者世帯向け賃貸住宅整備は非常に遅れている。整備が急務であり、新たな建設候補地の検討を進める。

**村長** 跡地の利用は今後募る。何年かは空き地となる。管理が必要。

**問** 説明会は、若い世代の出席が少なかった。独自にアンケートを行ってみたら意見収集は簡単ではないと感じた。若年層への働きかけをどうするか。

**村長** この3年間で一番欠けていたのが村民との対話活動。年代別の企画など積極的に行っていきたい。

**問** 旭ヶ丘の低所得者向け賃貸住宅の改修工事に関し、村民が理解できていない部分がある。説明を。

**建設環境課長** 村民への説明不足を認識している。現在の空き部屋を改修、終了後に移るといふ方法で、順番

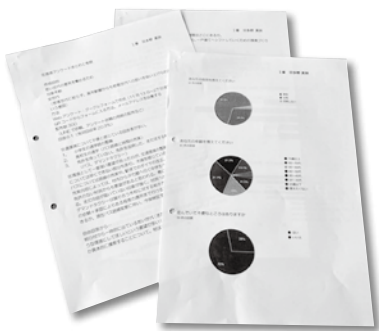
にやって行く。物件が新しくなり、賃料が高くなるため、入居料の説明等も含め、わかりやすく周知する。

**憩いステーション設置と交通、防犯整備について**

**問** 前回の質問、地域住民のための憩いステーション設置、どう考える。

**村長** 新たな公園整備はハードルが高い。小野沢に完成する防災公園の利用の様子を見ながら、地域にどういうものが必要か模索する。

**まとめ** 村民が満足する環境づくりは、様々な声を拾い、試行錯誤の作業の繰り返しだと思ふ。良い方向へ向かうよう進めてほしい。



アンケート結果





高橋良二 議員

## 公民館長の人選は

**答** 現段階では決まっていない

**問** 昨年の今頃だったと思いますが、公民館長についてお尋ねしました。女性公民館長でもよろしい、その後人材は見つかったのでしょうか。次の館長、副館長まで3ヶ月あまりとなりましたが人選は決まりましたか。

**教育次長** 公民館長の任期は今年度末で終わり、清沢館長が3期6年勤める、教育委員会も、小林村長、現公民館長と相談している所です。公民館長をお願いするにあたり、慎重に行う、しかし時間も限られているので議員の皆さんにも協力してもらいたい、女性の任用については男女共同参画を見据えて考えています。

### 議員定数の見直しは

**問** 先月、富山県朝日町に行きました、人口11万人位です。議員は10人で効率よく議員活動をしています。また、フューチャーデザイン研修会では、信州大学経済学部教授の山沖義和先生が朝日村も近い将来議員定数を見直す時が来ると、数人の村民

の方からも議員の数が多すぎるのではないかとの意見を伺っています。来年すぐには行かないまでも近い将来議員定数を見直したら。

**村長** 議員も色々お調べの事と思いますが、東筑でもばらつきがありますが、私どもの人口では10人が適当である、議員の人数の削減は色々な所で出てくると思いますが今の所は条例で決まっている。今後、議員定数を変更するには経費削減で村民の方から声上がる、議員の皆さんから声上がる、乱暴な言い方もしれないが首長の方から何人にもしたいと声が上がると、議員の皆さんで議論されてはいいかがか。



現在議員定数10名



清沢正毅 議員

## 西洗馬原工業団地企業誘致の状況は

**答** 長期的視野で企業誘致に取り組む

**問** 長年の課題であった西洗馬原工業団地が、来年3月に農地転用規制要件から外れるため、令和4年は地権者の意向を再確認し、具体的な企業誘致事業を進めるための検討を行っているとの事であるが、現状の状況について伺う。

**企画財政課長** 地権者アンケート結果は46名中40名が回答、29名が工場用地としての利用を望みその他の方は現状農地利用また貸地希望と言った結果である。高架線下は建物建築が困難であるが駐車場利用は可能、現在2社程引き合いはあるが、まだ検討段階で結論に至るまで時間がかかる。造成は村主導型で考えているが土地開発公社委託も考慮に入れている。今後地権者未回答者の意向確認を行うとともに、新たな企業誘致公募も検討し工業団地事業実現に向けて長期的な視野で取り組んで行く。

**問** マイナカード作成普及促進に取り組んでいるが、現状普及率が55.8%と全国平均の60.1%を下回っ

ている。今後の普及活動は？

**住民福祉課長** 100%は難しいかも知れないが引き続き窓口申請出張申請訪問申請を継続して実施していきたい、国の動きに合わせた取り組みを展開する。また、マイナポイント制度についても案内の工夫やサポートを実施していく。

**要請** 個人情報漏洩への危惧とマイナカード作成自体を望まない人たちも少なからず居ることを理解し、制度運用に当たってこつとした対象者の扱いをどうするのか明確にすべき。



ワクチン接種会場での出張申請



高橋廣美 議員

## コミュニティースクールの現状と今後について

**答** 学校と地域を繋げるコーディネーターの役割が必要

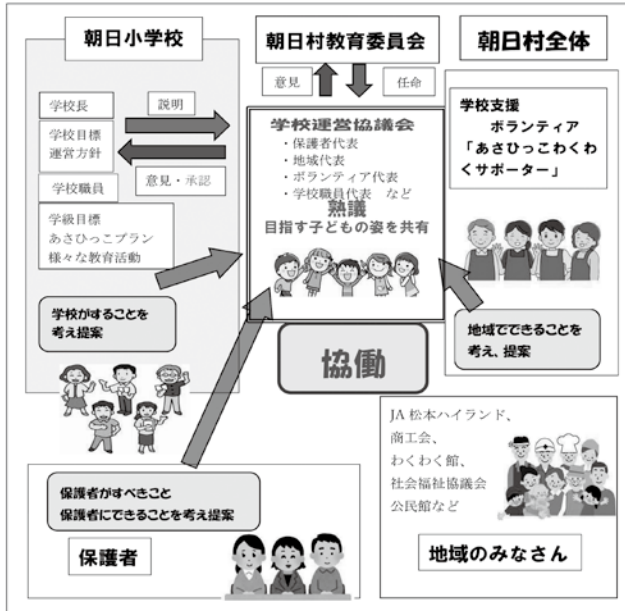
**問** コミュニティースクールは学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合つて、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支えながら「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。今多様化する生活様式の変化の中で、地域社会のつながりや支え合いは希薄になり、地域コミュニティの崩壊につながっている。そんな中で今学校では地域とつなぐコーディネーターは何をし、地域と学校をどう結び付けようとしているか。

ニティスクールになり、コーディネーターが地域との連絡調整役となり、学校を核とした地域づくりを目指す、という形となった。今コロナ禍であり思うようには進んでいないが、今後コーディネーター中心に学校と地域が双方方向のかかわりをもっと活発に展開できればと思っている。

**教育長** 従来の学校支援ボランティアが単に学校の要請にこたえるという形ではなく、4月から文科型の「コミュ

◇朝日小学校コミュニティ・スクールのイメージ

下図のように、学校・家庭・地域・行政が協働して進めていきます。



林 邦宏 議員

## 村道西洗馬7号線改良工事の出来映えは

**答** 危険箇所にはガードレールを敷設する

**問** 上組・向陽台地区民が平成28年から待ち望んでいた村道改良工事が、執行され間もなく竣工レベルに達する。道路改良工事では幅員が改善され、対向車とのすれ違いに気兼ねせず、走行出来ること、道路環境整備で晴れやかな気分で歩行出来るようになり生活道路の役割がより一層発揮されると思われる。この道路改良工事の執行の仕方、で気付いた事が、多々有ります。関係者との合意形成が出来ていないことです。

①2020年12月の議会一般質問での墓地前の道路環境整備で杉立木の伐採要請に、対し行政答弁は畑側に大きく寄せて行くので、急カーブの半分以上が道路の路肩となり、杉の立木は改良道路から離れるので、伐採しない。答弁とは逆に改善前より、改良道路が杉の立木に接近している。

②坂下部の道路構造は畑側に大きく寄せているかのように見えるが、32mの施工長さは法面施工で、寄せた効果が法面に食われ効果が出ていない、アースカーブも12mしか施工されていない。安全対策でガードレールの敷設が必要。

③取入れ口農道を利用する地権者・耕作者との合意形成はどうなっているのか。

④道路改良工事の施工部位のカーブミラーや外灯などの道路安全装備品の設置は。

**建設環境課長** 坂下部の施工にL型擁壁を使用せず「とは」法面工法にしたのは工費の高額化を回避する起債事業であるため。畑の剥ぎ出し箇所は地権者から了解を得ている。

**問** 取入れ口農道は舗装するか歩車道ブロックを敷設し耐久性向上を図るべきでは。

**建設環境課長** 設計に沿った処理している、再度要望者の意向を聞くので、要望されている方を教えて欲しい。

**問** 道路管理者である村長の所見を聞きたい。

**村長** 良い道路ができたと思っっている、まだ工事の途中なので進捗状況を見て欲しい。

**まとめ** 合意形成が出来ていない状況での工事執行、竣工前なので、不備な部分はしっかりと対処していただきたい。



## 開かれた議会を目指して 議会改革その一步!!



### 2回目「村民懇談会」開催(11月18日)

コロナ第8派の真ただ中であつたが感染対策を講じて懇談会は予定通り行った。3年に及ぶコロナ禍、地域づくりの最前線で取り組む区長・地区長の皆さんにもご案内した。参加者はリピーターのほか、最近県外から転入した方など20人が集まった。想像した通りコロナは地域の希薄化に拍車をかけており、役員のなり手不足など抱える課題の深刻な状況を共有した。転入者からは、土地柄・人柄・自然環境など村の魅力を語って頂いた。村の将来につい

て、「負債でなく財産を残して」と女性の真剣な表情が村への愛情を感じた。懇談会で出された内容は次にまとめた。コロナ禍で開催を危惧したが感染対策を講じていれば問題ないことが実証され実施して良かったと思う。

懇談会終了後、今後の継続開催について協議し、来年度、新体制の中で今回のアンケート結果を踏まえて実施することにした。

議会運営委員長 塩原 智恵美

#### コロナ禍における生活の変化や問題点

- 地域や人との繋がりが希薄になった。(複数)
- 常会、お祭り、旅行等が無く楽だが寂しい。行事等の組みの必要性を感じる。(複数)
- 若者集めに同窓会など機会を増やしたらどうか。(移住者)

#### 村議選無投票回避策は

- モニター制度などやっているが、かえって大変と思われるかも。
- 議員報酬が若い人には低すぎる。若い人にお金を使って欲しい。

#### 住みやすい朝日村とは

- 村の財産は自然。畑にソーラーパネルは残念。(複数)
- 若い人は親に頼りすぎて地区行事に無関心
- 役を受けた人が生き生きしているかが大切
- 村の人口が減ろうが気にならない。人口減少は逆にチャンスだ。助け合いの精神が増えるのでは。(複数)



### 議会モニターの効果

思い起こせばモニター設置は一昨年6月。無投票回避の有効な手段として取り組み、7人でスタートしたメンバーは現在10人。昨年2月の補欠選挙では二人が立候補し選挙となった。

定例会終了後に開くモニター会議は貴重な時間である。それぞれが個々の思いで率直に発言いただいている。議員が気付かずにやり過ごしてしまう事を指摘され

ることによって、議員の学びの場になっている。こうしたやり取りが互いに村を思う研鑽の場になればいい。

今年4月は統一地方選挙。この中から複数の立候補者が出ることを願っている。そして議会だよりが多くの皆さんに親しまれ、「よりよい村づくりを考える場の提供」という役割を担えたらと思う。

議会運営委員長 塩原 智恵美

### 議論する時間の確保を!! 12月定例会モニター会議報告(要旨抜粋)

- 説明時間が長く議論する時間が少ない。事前資料配布で議論する時間を確保したら。
- 一般質問のAYTでの放送は重要。1人ひとりの発言を評価するにも再放送を望む。
- 全国にはSNSで話題の「議会だより」もある。読んでもらうための工夫を。
- 木曾町では選挙への出馬表明したが、村議会でも検討したらどうか。
- 村民懇談会はいい試みだ。ただ発言が一人一言、やり方を工夫したら。
- 理事者と議員と一緒にハラスメントや言葉の講習会を定期的に受ける仕組みが必要では。



# 明日の朝日村のために 「村議会議員」になろう



このシリーズも最終回となりました。

いよいよ今年（令和5年）4月には統一地方選挙の村議会選挙があります。選挙にあたって、選ぶ側にも、選ばれる側にも、議会のやくわりや議員の仕事を知っていただくことがとても大事だと思います。このシリーズ最後は選挙までの具体的な手続きや流れについて、掲載できればと思います。

## 決意そして立候補、選挙までの流れ

議会と行政の仕事内容、地方自治法その他すべての内容を知っておかなくては議員になれない、というものではありません。どんな職場でもそうですが、先輩が指導してくれたり、仕事に対する研修会などがあります。

大事なことは、村のため、地域のために働くという強い気持ちがあればだれでも議員になれます。

実際の立候補手続きや選挙運動は告示日から始まり、選挙日前日までの期間に限られます。告示日は指定された時間内に選挙管理委員会の指定した書式で届け出をしないと立候補は受け付けられません。その為書類の不備などで立候補ができなくなる事態を避けるために、選挙管理委員会では立候補予定者のために、必要な書類を用意するなどして説明会を開きます。

そして告示前に書類に誤りがないかの点検（事前審査という）をしてくれます。

ここまでが選挙の準備期間です。

さてここからが村議会議員選挙の始まりです。

選挙戦はそれぞれ違いますが、大事なことは自分に投票してもらうかということで、自分をアピールし投票をお願いする選挙運動には数々の決まりごとがあります。わからないことや不安なことは選挙管理委員会に問い合わせ確認することが大事です。

最後になりますが、明日の朝日村のために、様々な職種の方、様々な年代の方、様々な考えや経験をお持ちの方などできるだけ多くの人々に手を挙げてもらい真に朝日村の将来に必要な人材を皆さんに選んでもらう選挙となってほしいと思います。（高橋廣美）

## 先進地視察（11月1・2日） DX先進地を視察 富山県朝日町

去る11月1日・2日、先進地視察として富山県朝日町を訪れました。「令和3年度デジタル田園都市国家構想推進交付金事業」において全国6自治体の一つに選ばれた朝日町は、デジタルを活用したサービスの社会実装を株式会社博報堂との官民連携で取り組んでいます。令和2年から、マイカー乗り合い公共交通サービス「フッカルあさひまち」を始めたのを皮切りに、「みんなで未来1課」という部署を立ち上げ、DX・カーボンニュートラル・情報発信の推進に力を入れています。自治体にも「DX」の推進が求められてきています。しかし、想像以上に変革に時間と労力がかかっている自治体も数多いのが実情で、朝日町はデジタル田園都市国家構想のモデルケースとしても注目されています。地域住民との共助／共創型のサービスの数々が用意されていて、町が積極的に地域と関わろうとしている取り組みに目を引きました。その一つ、「みんな

なび」：たすけあい／おたがいさま共助サービスに代表されるように、ネーミングから楽しさを想像させ、だれでも関わられる仕掛けづくりには随所に工夫が感じられました。朝日町にも参考にできることがあるはず、何を村政に反映させたら良いのだろうか：想像を膨らませ帰路につく我々議員一同、実りある研修となりました。（羽多野美映）



町長・担当職員から話を聞く



町内を視察（ヒスイテラス）



# 町村議会議長会全国大会 東筑摩郡議会議長会 国・県への要望書提出



NHKホールに1700人が参加

の後、地元選出の務台俊介・下條みつ・中川宏昌代議士の議員室を訪問し朝日村の課題の陳情請願を提出致しました。各代議士より、関係機関に働きをかけ、早期課題解決に向けて全力で取り組むという心強い言葉をいただきました。

町村議会議長会全国大会が11月9日東京渋谷NHKホールで行われました。これまでコロナ禍の影響で中止となっていた大会は実に3年ぶりに開催され、全国から総勢1700名の関係者が参加いたしました。研修会

また、17日は長野県庁に行き、関副知事を始め長野県議会議正副議長と面会をし、陳情請願を行って参りました。副知事よりそれぞれの村における課題については各課と連携し、地域住民の生活の安心安全の為に全力で取り組みたいとお言葉をいただきました。

た。村の課題を国そして県に届けることで、より豊かな村民生活へ繋がればと願います。引き続き、こうした活動を通じて村民福祉の為に尽くして参ります。(北村直樹)



国会議員への要請

# 朝日村山形村地域サイクルツーリズムの可能性について「学ぼう」

コロナ禍で3年間実施できなかった朝日村・山形村議会議員研修会が、12月21日(水)山形村農業者トレーニングセンターにおいて、マウンテンバイク(略称MTB)日本代表コーチの鈴木雷太さんを講師にお招きして開催されました。

サイクルツーリズムとは、日本におけるサイクルスポーツ活性化と海外からの観光客誘致および快適走行できるサイクリングロードの整備などを目的に国が地方公共団体と連携してサポートしています。

くというものです。

MTBプロの鈴木雷太さんから、朝日村山形村のサイクルツーリズムの可能性について、いくつか事例を踏まえてご教示いただき、山と交通量の少なさや蕎麦と名所を盛り込んだ観光資源の活用をはかり、地形や文化を生かしてのルート設定とここにしか無いものを生かす事により、サイクルツーリズムの可能性はあります。(清沢正毅)

## 議会活動日誌

### 10月

- 4 火 松本地区植樹祭・全員協議会
- 6 木 松塩地区広域施設組合議会運営委員会
- 12 水 全員協議会・行政視察
- 19 水 麻績村議会議員研修
- 21 金 産業振興課説明会  
松塩地区広域施設組合定例会
- 22 土 秋の鎖川河川清掃
- 25 火 松塩地区広域施設組合視察  
第2回松本地域公共交通協議会朝日部会  
県町村議員議長会定期総会
- 26 水 松塩地区広域施設組合視察
- 28 金 議会運営委員会
- 31 月 第3回臨時議会・空き家対策協議会

### 11月

- 1 火 先進地視察(富山県) 10P
- 2 水 先進地視察(富山県) 10P
- 4 金 長野県地方自治政策課題研修会
- 6 日 朝日村表彰式  
朝日村社会福祉協議会表彰式  
あさひスキークラブ定期総会
- 9 水 町村議会議長会全国大会・中学校組合議会 11P
- 10 木 町村議会議長会全国大会  
松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会
- 14 月 行政改革推進委員会  
松本広域連合定例会
- 16 水 全員協議会
- 17 木 東筑摩郡町村議長会県要望
- 18 金 村議会住民懇談会
- 21 月 第2回朝日村男女共同参画審議会
- 22 火 全員協議会
- 24 木 最終処分場連絡会議
- 25 金 JA野菜生産販売会議
- 29 火 議会運営委員会

### 12月

- 6 火 定例会開会
- 8 木 第3回朝日村空家等対策協議会
- 9 金 常任委員会
- 13 火 一般質問
- 14 水 令和4年度朝日プライムスキー場安全祈願
- 16 金 定例会閉会
- 17 土 朝日村アイススケート場安全祈願
- 18 日 叙勲授与式
- 21 水 新年特別番組「新春年頭あいさつ」収録  
朝日村・山形村議会議員研修会 11P
- 22 木 JAとの懇談・モニター会議
- 23 金 松塩地区広域施設組合議会議員協議会
- 24 土 高ボッチ高原FM新春特別番組出演



3年ぶり山形村との研修

# 村民の声

## 歳をとつても 住みやすい朝日村に



小野沢区長

豊田 正樹さん

いま、朝日村として、若者の定住促進に向けた諸施策に、村長を始め行政の皆さんが尽力されていることに敬意を表します。

例えば「住宅を建てても若者が朝日村に残ってもらえるか不明」といった意見や「人を増やすために今住んでいる村民が不利益を受けることに反対します」等々が挙がっています。

その一環として、旧おひさま保育園跡地に子育て世帯向けの村営住宅を建設するとの施策が打ち出され、本郷、西洗馬における住民説明会や建設の可否を問うアンケートが実施されました。

私も、そのアンケートに「若者向け村営住宅を建てることに賛成」と心えましたが、本郷地区の結果は、わずかに反対の声が上回りました。

これらの村民の声は、若者向け住宅を建てた後の、いま住んでいるお年寄りも含めた朝日村の住民全体が安心して住み続けられる村づくり(安心して病院に通い買い物に気軽に行ける足の確保といった諸施策)を希求していることの表れであるように考えます。

そうした村民が主体となった村づくりに向け、私も、微力ではありますが、お手伝いできればと思います。



### 議会モニター

2名が  
加わりました

古池美佐江さん  
秋野 敏子さん

現在 10 名です。  
『モニター』募集中です。  
議会や村政、村の将来に関心のある皆さま、ぜひ御参加ください。

## 村内の施設やイベントに 議員が訪問してその取組や 要望を聞く地域密着のコーナー

### 第15弾 「1upきのこファクトリー」



ハウス内のシイタケ

朝日村の中心小野沢にある「1upきのこファクトリー」を訪問しました。真っ白な大きいシイタケハウス。この会社は松本市南松本に本社がある、大心株式会社さんのグループ会社の一つで、北海道産菌床を使用した生シイタケ、乾燥シイタケを栽培 販売しています。

アグリ事業部長の浅野宏充さんにお話を伺いました。大心グループは障がい者福祉の分野での実績があり、リハビリデイサービス、障がい者グループホームなどを運営しているそうです。朝日村の「1upきのこファクトリー」は農福連携の考えのもと、障害福祉にかかわる中で、就労場所が少なくという課題解決のための場所になっている。

現在自社のグループホームから支援を受け作業を行っている。

今後はハウスをフルに活用して生産量を増やし、グループの障害施設の皆さんと一緒に働く楽しさを共有したい。

朝日村の皆さんにも、会社、事業内容を知っていただき協力関係が作れればと考えている、と語っていました。

(高橋廣美)

## 編集後記

昨年の世相を表す漢字は『戦』。ロシアのウクライナ侵略の衝撃は大きく、世界を危機に巻き込んだ。国内でも岸田首相は防衛費を43兆円投入して敵基地攻撃能力を備えるという。つくづく人間とは争いが好きな生き物だ。一番末端の議会人として思う事は「国会の機能不全」だ。重大な案件が国会の審議を経ず閣議で決まる。村政で言ったら「すべて専決処分」。それで良いのかと義憤にかられる。言うては何だが朝日村では行政から丁寧な議案の説明があり、議会も活発に討議している。そんな憤りを吹き飛ばした「サッカーワールドカップ」。この盛り上がり方を力にして今年も頑張ってください！ (中村文映)

発行責任者

北村 直樹

議長

高橋 廣美

編集委員

高橋 良二

委員長

中村 文映

副委員長

齊藤 勝則

委員

清沢 正毅

塩原智恵美



こちらから  
朝日村議会の  
ホームページを  
ご覧いただけます

小野沢にあるハウス

